

ふじみさらだボール子育て情報



「心配と取り越し苦労」

令和7年5月28日号

板橋富士見幼稚園



こんなことが心配ですか？

皆さんはこんな心配をされていませんか。

言葉が遅い気がする・おもちゃに強いこだわりがある・他のお友達と一緒に遊ばない・おむつがなかなか取れない、などなど…幼児期は様々なことが心配になりますよね。悩むことが多く、子育てを楽しむ余裕が無くなってしまうことが多々あるかと思えます。今日はこんな心配事をされている方へのアドバイスです。

例えば、言葉を豊かに育てるためには、子どもの発話に素早く応答してあげることが大事になります。また、子どもの言いたいことをゆっくりと待って、言葉を引き出してあげてください。言葉と感情は一体なので、“相手に伝えたい”という思いが高まることで言葉が育っていきます。また、おもちゃにこだわりがあって特定のものを好む子どもは、その気持ちを大切にしながらも他の様々な体験をさせてあげると、視野が広がる機会となります。

母子分離時期は、心理学的には3歳前後と言われています。早期に無理に自立させようとしたり、親の意図で物事を教え込もうとしたりすると、不安感が強まり、かえって母子分離が遅れることがあると言われています。



出生時期が同じでも、体重や身長が平均より上と下とでは、発達に開きがあります。またご両親の気質や性格も遺伝します。こだわりが強い子や、ちょっとしたことで不安を抱え集団に参加できない子など、様々な個性やそれぞれの発達のスピードがあります。心配事が絶えないかもしれませんが、一番大切なのは、「自分が大切にされていること」が子どもに伝わる家庭生活を送ることです。そのためにも、毎日子どもを抱きしめ、「あなたはあなたでいいよ」と大切にしていることを肌で伝えていくことをお勧めします。

また、家庭での言葉の環境にも注意しましょう。乳幼児の前で両親が口喧嘩をすると、いつもと口調が変わることで、意味は分からなくても不安になってしまいます。

家族からの愛情に満ちあふれる子どもは、気持ちが安定し、すべての成長が加速されていきます。そしてどんどん自己発揮していくことができるのです。あまり心配されず、子育てを楽しんでくださいね。



【写真：イチゴの収穫祭】年長さんが大事に育ててきたイチゴを使って美味しいジュース屋さんを開いてくれました。